

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託期間は2019年9月9日から無期限です。	
運用方針	安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	グローバルETF・インカム・バランスファンド (年2回決算型)	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド (為替ヘッジあり)	日本を含む世界各国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	グローバルETF・インカム・バランスファンド (年2回決算型)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド (為替ヘッジあり)	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年2回(1月、7月の15日(休業日の場合は翌営業日))決算を行い、収益の分配を行います。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

グローバルETF・インカム・ バランスファンド(年2回決算型)

運用報告書(全体版)

第9期(決算日 2024年1月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	騰 落 中 率		
第5期(2022年1月17日)	円 9,132	円 100	% △0.3	% 93.9	百万円 1,755
第6期(2022年7月15日)	8,056	100	△10.7	85.6	1,496
第7期(2023年1月16日)	8,072	100	1.4	84.7	1,445
第8期(2023年7月18日)	7,832	100	△1.7	96.5	1,353
第9期(2024年1月15日)	7,795	100	0.8	97.6	1,257

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		騰 落 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	円	%		
(当 期 首) 2023年 7月18日	7,832	—		96.5
7月末	7,836	0.1		98.8
8月末	7,752	△1.0		96.2
9月末	7,556	△3.5		96.4
10月末	7,374	△5.8		97.9
11月末	7,703	△1.6		96.9
12月末	7,916	1.1		95.7
(当 期 末) 2024年 1月15日	7,895	0.8		97.6

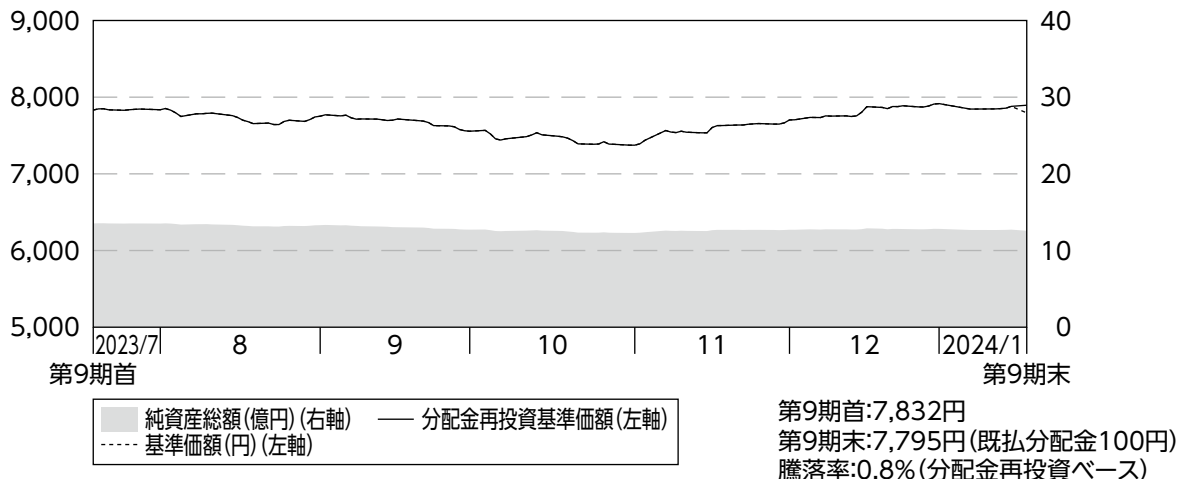
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2023年7月18日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

期初は、底堅い経済指標を受けて米国経済が軟着陸に向かうとの見方が強まったことなどからハイイールド社債等がリターンを牽引し、基準価額は上昇しました。ただ、その後は中国の景気減速懸念が強まったことをうけて新興国債券がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。9月に入ると、インフレ圧力の継続から米政策金利の長期高止まりが懸念されたことやFOMC(米連邦公開市場委員会)参加者の政策金利見通し引き上げを受けて金利が上昇、それにより当ファンドにおいては新興国債券やREITがマイナスに影響する等し、基準価額は下落しました。11月以降は、雇用やインフレ指標の鈍化を受けて米国の利上げ局面の終了が意識されたことで市場心理が改善、それにより当ファンドにおいても幅広い資産がプラスに寄与し基準価額は上昇に転じました。

投資環境

当期のグローバル株式市場は、インフレ率が低下したことを背景に、12月FOMCでは3会合連続で政策金利が据え置かれました。その結果、金融引き締め局面の終了が意識されたことで市場心理が改善し、株価は上昇しました。グローバル債券市場は、期初から10月にかけて各国中央銀行が金融引き締めスタンスを強化したことから金利は上昇基調で推移しました。その後、雇用やインフレ指標の鈍化を受けて米国の利上げ局面の終了が意識されたことから、金利は低下に転じました。クレジット市場は、欧米で金融引き締め政策が終了するとの見方が広まり投資家の心理が大幅に改善されたことで、クレジットスプレッドは縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは一定以上のインカム水準を確保しつつ、様々な地域・資産へと投資する「グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)」の受益証券をほぼ100%組み入れ、運用しました。

【「グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)」の運用経過】

期初は、過度な金融引き締めへの警戒から株価が下落するも、値ごろ感が強まったとみて日本高配当株式やJ-REITの配分を10月に引き上げました。その後、12月には市場の利下げ期待が行き過ぎているとみて欧州中期国債を売却しました。

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクを低減しました。

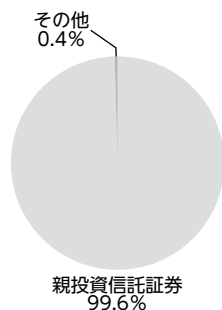
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

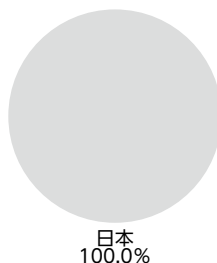
	当期末
	2024年1月15日
グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)	99.6%
その他	0.4%
組入ファンド数	1

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

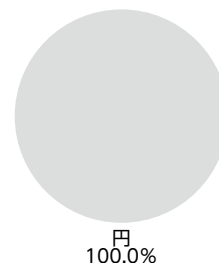
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第9期	
	2023年7月19日~2024年1月15日	
当期分配金	(円)	100
(対基準価額比率)	(%)	(1.267)
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	281

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)受益証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券(REIT)、マスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)、貸付債権(バンクローン)及びその他様々な資産クラスを投資対象とする日本を含む世界各国の金融商品取引所等の上場投資信託証券に分散投資します。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年7月19日~2024年1月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.490%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は7,689円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(18)	(0.237)	
(販売会社)	(18)	(0.237)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	3	0.033	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(2)	(0.030)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	42	0.532	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

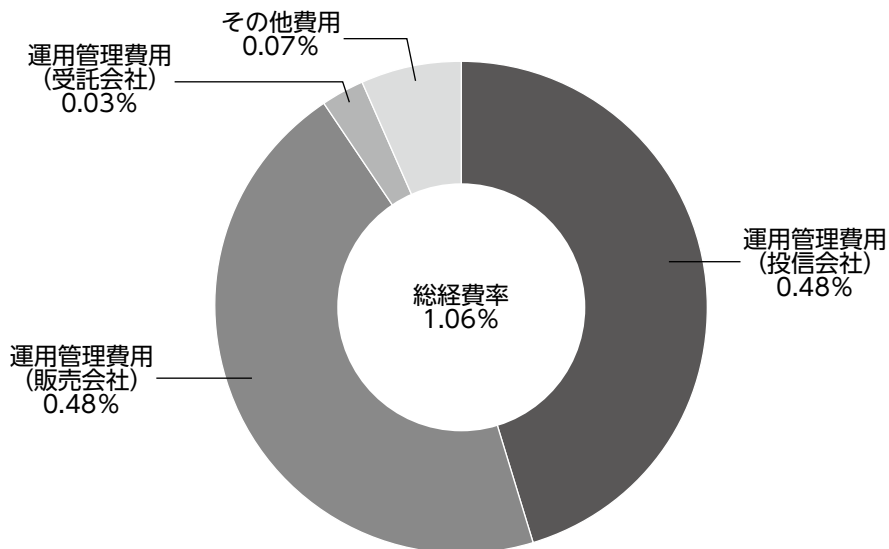
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.06%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)実質的に投資する上場投資信託証券の運用・管理にかかる費用は含みません。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバルETF・インカム・バランス マザーファンド(為替ヘッジあり)	千口 —	千円 —	千口 120,563	千円 108,600

利害関係人[※]との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 0.073407	百万円 0.073407	% 100.0	百万円 0.073407	百万円 0.073407	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	859	19	2.2	861	26	3.0

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)>

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 2	百万円 2	% 100.0	百万円 2	百万円 2	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	20,362	494	2.4	20,422	554	2.7

<平均保有割合 20.9%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

<親投資信託残高>

	当 期 首(前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバルETF・インカム・バランス マザーファンド(為替ヘッジあり)	千口 1,476,917	千口 1,356,353	千円 1,252,320

(注)親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、6,507,900千口です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)	1,252,320	97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	29,758	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,282,078	100.0

(注1) グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)において、当期末における外貨建純資産(5,350,311千円)の投資信託財産総額(6,131,050千円)に対する比率は87.3%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=145.17円

1ユーロ=159.02円

1スイスフラン=170.13円

1オーストラリアドル=97.13円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2024年1月15日現在
(A)資 産	1,282,078,402円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	29,757,407
グローバルETF・インカム・ バランスマザーファンド (為替ヘッジあり)(評価額)	1,252,320,995
(B)負 債	24,352,328
未 払 収 益 分 配 金	16,135,332
未 払 解 約 金	1,873,546
未 払 信 託 報 酬	6,308,451
未 払 利 息	9
そ の 他 未 払 費 用	34,990
(C)純 資 産 総 額(A-B)	1,257,726,074
元 本	1,613,533,210
次 期 繰 越 損 益 金	△355,807,136
(D)受 益 権 総 口 数	1,613,533,210口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,795円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年7月19日 至 2024年1月15日
(A)配 当 等 収 益	△1,425円
受 取 利 息	18
支 払 利 息	△1,443
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	16,314,182
売 買 益	17,722,616
売 買 損	△1,408,434
(C)信 託 報 酬 等	△6,343,441
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	9,969,316
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△307,606,591
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△42,034,529
(配 当 等 相 当 額)	(14,569,052)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△56,603,581)
(G)計 (D+E+F)	△339,671,804
(H)収 益 分 配 金	△16,135,332
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△355,807,136
追 加 信 託 差 損 益 金	△42,034,529
(配 当 等 相 当 額)	(14,608,505)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△56,643,034)
分 配 準 備 積 立 金	30,846,515
繰 越 損 益 金	△344,619,122

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は1,727,808,200円、期中追加設定元本額は12,692,059円、期中一部解約元本額は126,967,049円です。

※分配金の計算過程

項	目	当	期
(A)	配当等収益額(費用控除後)		23,176,007円
(B)	有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)		－円
(C)	収益調整金額		14,608,505円
(D)	分配準備積立金額		23,805,840円
(E)	分配対象収益額(A+B+C+D)		61,590,352円
(F)	期末残存口数		1,613,533,210口
(G)	収益分配対象額(1万口当たり)(E/F×10,000)		381円
(H)	分配金額(1万口当たり)		100円
(I)	収益分配金金額(F×H/10,000)		16,135,332円

分配金のお知らせ

	当期
1万口当たり分配金	100円

(注)分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

【分配金の課税上の取扱いについて】

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、

- A. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合又は当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、
- B. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

- ・課税上の詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。
- ・税法が改正された場合などは、上記の内容が変更になる場合があります。

お知らせ

信託期間を無期限とするため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2023年10月17日)

グローバルETF・インカム・バランスマザーファンド(為替ヘッジあり)

運用報告書

第5期（決算日 2024年1月15日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2019年5月31日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	日本を含む世界各国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 信 託 証 券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
設定日(2019年5月31日)	円 10,000		% —	% —	百万円 99
第1期(2020年1月15日)	10,512		5.1	97.8	6,389
第2期(2021年1月15日)	9,704		△7.7	97.5	9,219
第3期(2022年1月17日)	10,089		4.0	94.3	8,263
第4期(2023年1月16日)	9,228		△8.5	85.2	6,809
第5期(2024年1月15日)	9,233		0.1	98.0	6,008

当期中の基準価額の推移

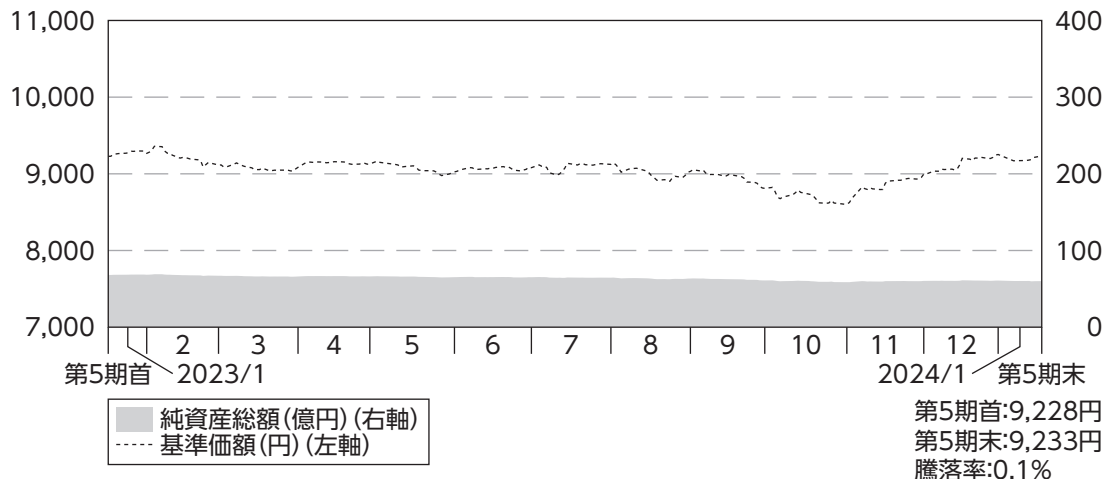
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 率
		騰 落	率	
(当 期 首) 2023年 1月16日	円 9,228		% —	% 85.2
1月末	9,267		0.4	90.6
2月末	9,113		△1.2	93.5
3月末	9,085		△1.5	91.6
4月末	9,129		△1.1	90.7
5月末	9,025		△2.2	90.4
6月末	9,080		△1.6	94.1
7月末	9,123		△1.1	99.1
8月末	9,032		△2.1	96.4
9月末	8,810		△4.5	96.8
10月末	8,604		△6.8	98.0
11月末	8,996		△2.5	97.0
12月末	9,252		0.3	95.6
(当 期 末) 2024年 1月15日	9,233		0.1	98.0

(注)騰落率は期首比です。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

期初は、米国の雇用統計で雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことや、1月の物価上昇率が市場想定よりも緩やかなペースでの鈍化に留まったことから利上げ再加速が懸念され金利が上昇したことにより先進国国債等がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。その後、米銀行破綻などから金融システム不安が高まり、REITや優先株式が売られたことも基準価額の下落に影響しました。期後半に入るとFOMC(米連邦公開市場委員会)参加者の政策金利見通し引き上げを受けて金利は一段と上昇、それにより当ファンドにおいては新興国債券やREITがマイナスに影響する等し、基準価額は下落しました。11月以降は、雇用やインフレ指標の鈍化を受けて米国の利上げ局面の終了が意識されたことで市場心理が改善、それにより当ファンドにおいても幅広い資産がプラスに寄与し基準価額は上昇に転じました。

投資環境

グローバル株式市場は、インフレ率が低下したことを背景に、12月FOMCでは3会合連続で政策金利が据え置かれる等、金融引き締め局面の終了が意識されたことで市場心理が改善し、株価は上昇しました。グローバル債券市場は、期初から10月にかけては米景気指標の改善やFOMC参加者から利上げサイクル終了に対して慎重な発言が相次ぎ、金利は上昇しました。10月以降は、雇用やインフレ指標の鈍化を受けて米国の利上げ局面の終了が意識されたことから、金利は低下に転じました。クレジット市場は、欧米で金融引き締め政策が終了するとの見方が広まり投資家の心理が大幅に改善されたことで、クレジットスプレッドは縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは一定以上のインカム水準の確保を目指しつつ、様々な地域・資産へと分散投資するファンドです。期の前半は、インフレ率が低下したことをうけて、株式と債券が同時安に陥るリスクが幾分後退したとみて短期金融資産等の配分を引き下げました。また、新興国が先進国に先んじて景気回復に向かうと考え、新興国債券の配分を引き上げました。期の後半には過度な金融引き締めへの警戒から株価が下落するも、値ごろ感が強まったとみて日本高配当株式やJ-REITの配分を10月に引き上げました。その後、12月には市場の利下げ期待が行き過ぎているとみて欧州中期国債を売却しました。

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクを低減しました。

当ファンドの組入資産の内容

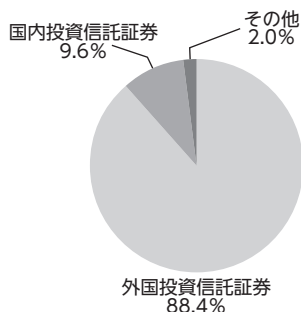
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ISHARES 0-5 YR HY CORP BOND	アメリカ	10.3%
2	VANECK PREFERRED SECURITIES	アメリカ	10.3%
3	VANGUARD AUST FI INTERST ETF	オーストラリア	9.9%
4	ISHARES JPM USD ASIA BOND	シンガポール	8.2%
5	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	アメリカ	8.1%
6	ISHARES CORE EURO CORP BOND	イギリス	7.9%

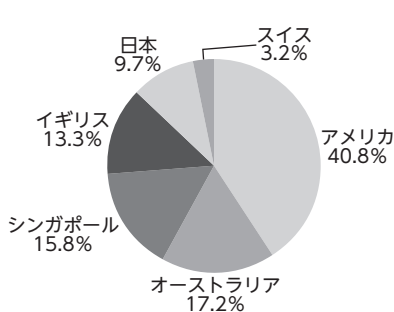
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ISHARES USD ASIA HYLD BD-ETF	シンガポール	7.3%
8	NEXT FUNDS 東証REIT 指数連動型上場投信	日本	7.3%
9	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	アメリカ	6.2%
10	ISHARES EURO HY CORP	イギリス	5.1%
組入銘柄数			16

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

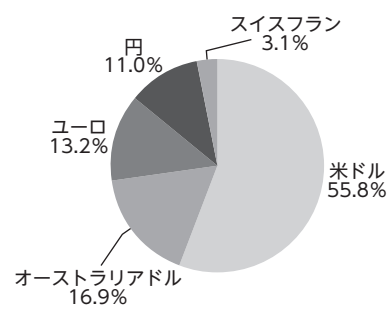
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

今後の運用方針

主として、日本を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券(REIT)、マスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)、貸付債権(バンクローン)及びその他様々な資産クラスを投資対象とする日本を含む世界各国の金融商品取引所等の上場投資信託証券に分散投資します。

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年1月17日~2024年1月15日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	1円 (-) (-) (-) (1) (-) (-)	0.015% (-) (-) (-) (0.015) (-) (-)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	0 (-) (-) (-) (-) (0)	0.005 (-) (-) (-) (-) (0.005)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	5 (5) (-) (0)	0.056 (0.056) (-) (0.000)	(c) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	6	0.076	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(9,043円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

<投資信託受益証券、投資証券>

	当 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	138	271,251	18	36,208
NEXT FUNDS 日経平均高配当株50指数連動型上場投信	2	125,263	—	—
小 計	140	396,515	18	36,208
外 国				
アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	0.521	57	14	1,629
ISHARES MBS ETF	—	—	26	2,578
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	29	2,556	9	811
ISHARES JPM USD ASIA BOND	152	1,403	76	695
ISHARES USD ASIA HYLD BD-ETF	153	1,023	289	1,760
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN	2	93	45	1,887
ISHARES MORTGAGE REAL ESTATE	43	1,056	8	181
ISHARES 0-5 YR HY CORP BOND	8	372	32	1,323
VANECK PREFERRED SECURITIES	27	471	84	1,461
小 計	419	7,035	587	12,329
アイルランド	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
ISHARES EURO GOVT 7-10YR	5	941	12	2,393
ISHARES CORE EURO CORP BOND	26	3,067	5	610
ISHARES EURO HY CORP	1	96	7	660
小 計	32	4,105	25	3,665
ユ ー ロ 計	32	4,105	25	3,665
スイス	千口	千スイスフラン	千口	千スイスフラン
UBS ETF SMIM	2	565	1	437
小 計	2	565	1	437
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VANGUARD AUS HIGH YIELD	—	—	6	426
VANGUARD AU PROP SEC IDX ETF	6	464	16	1,321
VANGUARD AUST FI INTERST ETF	7	330	42	1,886
小 計	13	795	65	3,634

(注)金額は受渡代金です。

利害関係人[※]との取引状況等

■ 利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
金 銭 信 託	百万円 2	百万円 2	% 100.0	百万円 2	百万円 2	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	93,949	13,008	13.8	94,765	13,130	13.9

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

< 国内投資信託受益証券、投資証券 >

銘 柄	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数 (千口)	口 数 (千口)	評 価 額 (千円)
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	100	220	438,064
NEXT FUNDS 日経平均高配当株50指数連動型上場投信	—	2	135,801
合 計	100	222	573,866
	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1	2 < 9.6% >

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

<外国投資信託受益証券、投資証券>

銘柄	当期首(前期末)		当 期 末		
	口 数 (千口)	口 数 (千口)	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額 (千円)	
(アメリカ)			千米ドル		
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	37	23	2,570	373,222	
ISHARES MBS ETF	26	—	—	—	
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	17	37	3,357	487,388	
ISHARES JPM USD ASIA BOND	283	359	3,375	489,978	
ISHARES USD ASIA HYLD BD-ETF	612	477	3,030	439,952	
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN	73	30	1,284	186,427	
ISHARES MORTGAGE REAL ESTATE	—	35	828	120,265	
ISHARES 0-5 YR HY CORP BOND	123	100	4,248	616,819	
VANECK PREFERRED SECURITIES	300	243	4,246	616,493	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,475	1,307	22,942	3,330,546
	銘 柄 数 <比 率>	8	8	—	<55.4%>
(アイルランド)			千ユーロ		
ISHARES EURO GOVT 7-10YR	7	—	—	—	
ISHARES CORE EURO CORP BOND	4	25	2,999	476,965	
ISHARES EURO HY CORP	26	20	1,923	305,869	
ユーロ計	口 数 ・ 金 額	38	45	4,922	782,835
	銘 柄 数 <比 率>	3	2	—	<13.0%>
(スイス)			千スイスフラン		
UBS ETF SMIM	3	4	1,100	187,311	
小 計	口 数 ・ 金 額	3	4	1,100	187,311
	銘 柄 数 <比 率>	1	1	—	<3.1%>
(オーストラリア)			千オーストラリアドル		
VANGUARD AUS HIGH YIELD	32	26	1,837	178,474	
VANGUARD AU PROP SEC IDX ETF	39	29	2,453	238,271	
VANGUARD AUST FI INTERST ETF	170	136	6,142	596,664	
小 計	口 数 ・ 金 額	243	192	10,433	1,013,410
	銘 柄 数 <比 率>	3	3	—	<16.9%>
合 計	口 数 ・ 金 額	1,761	1,549	—	5,314,103
	銘 柄 数 <比 率>	15	14	—	<88.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 5,887,969	96.0 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	243,081	4.0
投 資 信 託 財 産 総 額	6,131,050	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(5,350,311千円)の投資信託財産総額(6,131,050千円)に対する比率は87.3%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=145.17円

1ユーロ=159.02円

1スイスフラン=170.13円

1オーストラリアドル=97.13円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2024年1月15日現在
(A)資 産	11,316,161,203円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	229,564,398
投資信託受益証券(評価額)	5,887,969,581
未 収 入 金	5,185,248,046
未 収 配 当 金	13,379,178
(B)負 債	5,307,626,058
未 払 金	5,307,625,995
未 払 利 息	63
(C)純 資 産 総 額(A-B)	6,008,535,145
元 本	6,507,900,048
次 期 繰 越 損 益 金	△499,364,903
(D)受 益 権 総 口 数	6,507,900,048口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,233円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年1月17日 至 2024年1月15日
(A)配 当 等 収 益	301,135,157円
受 取 配 当 金	300,879,946
受 取 利 息	408,048
そ の 他 収 益 金	4,534
支 払 利 息	△157,371
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△317,217,939
売 買 益	1,123,717,815
売 買 損	△1,440,935,754
(C)そ の 他 費 用	△3,553,342
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	△19,636,124
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△569,388,552
(F)解 約 差 損 益 金	89,659,773
(G)計 (D+E+F)	△499,364,903
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△499,364,903

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は7,379,159,821円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は871,259,773円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

グローバルETF・インカム・バランスファンド(年1回決算型) 5,151,546,755円

グローバルETF・インカム・バランスファンド(年2回決算型) 1,356,353,293円

お知らせ

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2023年10月17日)